

# 向ヶ丘遊園駅～たまプラーザ駅間のバス路線の新設

(平成29年4月)

向ヶ丘遊園駅菅生線の拡幅整備に伴い、新たなバス路線を検討する中で、「向ヶ丘遊園駅～たまプラーザ駅」間のバス路線の新設について、平成28年8月からの社会実験を行いました。社会実験による運行の結果を踏まえ、平成29年4月より本格運行を開始することになりました。

東生田二丁目周辺の向ヶ丘遊園駅菅生線の拡幅整備の写真

【拡幅前（平成6年12月）】



【拡幅後】



## <議会での審議経過と市の取り組み>

【平成22年第3回定例会（6月）】

### 質問

向ヶ丘遊園駅菅生線の拡幅整備に伴い、宮前区役所、宮前平、たまプラーザ、新百合ヶ丘方面への路線をつくってほしいという声が強く寄せられています。検討すべきと思いますが対応を伺います。

### 答弁

向ヶ丘遊園駅菅生線を活用した新たなバス路線につきましては、需要見込みや運行の効率性などの経営的な視点及び地域の基幹的なバスネットワークの形成といった視点から運行ルートを検討してまいります。

### 要望

バスは区民の大切な足であり、公共交通の役割を踏まえたネットワークの形成が必要です。地元の方々の声を十分に反映できるよう求めておきたいと思っております。

この時点での取り組みとしては・・・

- ・向ヶ丘遊園駅管生線の拡幅整備を受け、市バスでは平成22年7月に溝ノ口駅からおし沼間のバス路線を向ヶ丘遊園駅まで延伸しました。その後、平成26年3月からは、利用状況を踏まえ、増便も行いました。
- ・新しいバス路線を検討する中で、たまプラーザ駅方面への路線については、同駅のバスターミナルにおける停留所の確保などが課題となりましたが、引き続き検討状況などについて議会で質問が行われていました。



【平成27年第5回定例会（12月）】

**質問**

平成28年8月から「向ヶ丘遊園駅～たまプラーザ駅」間のバス路線新設の社会実験が始まるとの報告がありましたが、バス事業者としてこの路線で社会実験を行うことにした理由について伺います。

**答弁**

今回社会実験をする路線においては、かねてからおし沼地区、白幡台地区などから市バスに要望がございました。たまプラーザ駅バスターミナルにおいて市バスが使用できる停留所がないことから、運行が難しい状況でしたが、駅ターミナルを管理している東急バスとの協議の中で、東急バスと共同運行を行うことにより使用できる停留所が確保できたことから社会実験を行うこととしました。この社会実験は、利用状況や既存路線への影響及び住民の意見を確認し、その課題について東急バスと協議調整して、本格運行に向けて行うものです。

**質問**

今後この路線が、市民の要望が実った路線として、市民の足として十分機能を果たしていくためには、その運行の内容に住民の声の反映をさせることが大切だと思います。社会実験ではアンケートなど住民要求の把握も含まれているとのことですが、社会実験を支援する行政の立場として、どのようなアンケートを想定していますか。

**答弁**

社会実験制度の取り組みの一つとして、バスの利用者や沿線地域の方々に、路線に対する評価や今後の利用意向等についてお聞きし、今後のバス事業者の運行判断等に役立てるため、事業者と連携して取り組みます。

取り組みとしては・・・

- ・路線バス社会実験の実施にあたり、川崎市域の外に出て、横浜市域内へ乗り入れるためには、議会の議決が必要なことから、平成28年第1回定例会（2月）に「川崎市一般乗合旅客自動車運送事業路線を横浜市域内に設置することに関する協議について」の議案を提出して、議会の議決を求めました。議会での審査の結果、全会一致で可決されました。

## ・社会実験の概要

|         |  |
|---------|--|
| 運行事業者   | 川崎市交通局・東急バス株式会社                                |
| 社会実験の期間 | 平成28年8月1日から平成29年1月31日まで                        |
| バスの運行状況 | 平日は11時台から16時台、土・休日は10時台から18時台の間、概ね40分間隔で運行     |
| アンケート   | 今後の利用意向、路線の満足度などを確認するため、社会実験期間中に3回の利用者アンケートを実施 |



### ※路線バス社会実験支援制度とは

バス事業者がサービス向上に向けた路線新設又は既存路線の見直しの検討を行う際に、あらかじめ具体的な需要等を確認し、その事業性を判断するために試行的に運行する取り組みを市が支援する制度です。

### 【平成29年第1回定例会（2月）】

#### 質問

「向ヶ丘遊園駅～たまプラーザ駅」間のバス路線の社会実験が行われましたが、地域の期待も大きな路線で、本格実施の声も高まっています。アンケート調査の結果などを踏まえ、本格運行について伺います。

#### 答弁

「向ヶ丘遊園駅～たまプラーザ駅」間のバス路線本格運行の実施についてですが、今回の社会実験は4項目の評価指標を設定して実施し、調査結果によりますと、利用者数は目標値に達していませんが、今後の利用意向など、ほかの3項目では目標値を達成しておりました。その結果を踏まえ、市バスでは、共同運行事業者である東急バス株式会社と協議した結果、平成29年4月1日から本格運行を実施することになりました。

